

高等教育活性化シリーズ 209 (通算 524 回)

2012 年 4 月 21 日 (土)

個別大学戦略としての春・秋入学のウエイト——

秋入学導入の論点整理と今後の進路

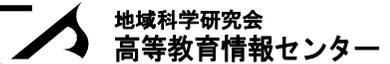
～実施大学・支援団体・産業界からの報告—教育責任と社会インフラをめぐって～

- ※ 東大濱田構想 (中間報告～最終報告) の内実 / 12 大学検討協議会の行方
- ※ 実施大学における定員枠と教育責任 ～入試・教学運営・卒業・就職の実際
- ※ 社会・企業とともに「若者を大切にし、学生生活を全うできる」大学へ

● 講師 パネリスト陣 ●

- | | | | | |
|----|----|---|---|----------------------------|
| 石塚 | 公康 | 氏 | ／ | 読売新聞 東京本社 教育企画取材班 記者 |
| 中津 | 将樹 | 氏 | ／ | 国際教養大学 入試室長 |
| 是永 | 駿 | 氏 | ／ | 立命館アジア太平洋大学 学長 |
| 砂田 | 薫 | 氏 | ／ | (一般社) 日本ギャップイヤー推進機構協会 代表理事 |
| 井上 | 洋 | 氏 | ／ | (社) 日本経済団体連合会 社会広報本部長 |

2012 年 4 月 21 日 (土) 剛堂会館ビル 会議室 (東京・麹町)



日時: 2012 年 4 月 21 日 (土) 13:00～17:30
 会場: 剛堂会館ビル (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)
 千代田区紀尾井町 3-27 03-3234-7362

アクセス: 東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より
 徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」
 麹町口より徒歩 10 分
 ※会場の地図及び受講証を送付しますので
 必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名 (資料代込)
 42,000 円 (消費税込)
 B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付)
 43,000 円 (送料、消費税込)

※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ
 FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660

口座名 < (株) 地域科学研究会 >
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に
 代えさせていただきます。
 申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
 Tel: 03 (3234) 1231 / Fax: 03 (3234) 4993
 E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 URL: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

☆FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研究会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 209

2012 年 月 日

秋入学導入の論点整理と今後の進路

当日参加 メディア参加
 (□に✓印を入れてください)

勤務先 _____

連絡部課・担当者名 _____

所在地 〒 _____

メールアドレス _____

TEL _____ FAX _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法 (□郵便振替 □当日払い □銀行振込) 必要書類 [□請求書 □見積書]

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
13:00 }	□ 秋入学を考える論点提起
13:30	読売新聞 石塚 公康
13:00 }	1. 東大の構想
13:30	2. 大学・企業・政府の反応
	3. 秋入学をめぐる様々な論点
<hr/>	
13:30 }	□ [国際教養大] 大学生は4年間で卒業しなければならないのか ～大学が変わる・社会が変わる～
14:00	国際教養大学 中津 将樹
13:30 }	1. ギャップイヤー入試の実践
14:00	2. 1年間の留学義務づけ
	3. 学生を伸ばす大学
	4. 社会が求める人材
	5. 大学が変わる・社会が変わる
<hr/>	
14:10 }	□ [立命館APU] 多文化共生キャンパスの入学・卒業・就職の実際 ～大学が変わる・社会が変わる～
14:40	立命館アジア太平洋大学 是永 駿
14:10 }	1. 開学(2000年)から春・秋入学を実施
14:40	(1) APUの理念 (2) 大学システムと多言語・多文化環境
	(3) 春・秋入学実績
	2. グローバル人材の育成
	(1) グローバル人材とは何か (2) 国際通用性
	(3) 日英二言語教育 (4) クォーター制
	3. 卒業後の選択
	(1) 日本の就職システム (2) 「ギャップ・イヤー」 (3) 就職の実際
<hr/>	
14:40 }	□ [体験支援] “半年ギャップイヤー”の高等教育人材育成としての可能性 ～空白でなく“機会創出”としての捉え方と課題～
15:10	日本ギャップイヤー推進機構協会 砂田 薫
14:40 }	1. ギャップイヤーの定義と昨年の産官学民の推進状況の振り返り
15:10	2. 海外でのギャップイヤーの有効性研究成果と調査結果
	3. 産官学民のセクターで考えるギャップイヤーへの評価と進展
	4. “半年ギャップイヤー”のプログラム設計・仕組み・枠組みの議論
	5. 既にギャップイヤーの概念を意識して「社会体験・就労体験」する若者
<hr/>	
15:20 }	□ [産業界] グローバル人材の育成と大学改革への期待 ～秋入学は若者をどう変えるか～
15:50	日本経済団体連合会 井上 洋
15:20 }	1. 企業が求めるグローバル人材のすがた
15:50	2. 若者の内向き志向がもたらす危機
	3. 産業界と大学の連携強化の具体的な取り組み
	4. 大学教育における改革への期待
<hr/>	
16:00 }	[パネル討論] 日本型秋入学を拓く～グローバル人材育成と教育責任・社会インフラ
17:30	パネリスト▷ 石塚 公康氏/中津 将樹氏/是永 駿氏/ 砂田 薫氏/井上 洋氏 司 会▷ 青野 友太郎/ 地域科学研究会 高等教育情報センター